

恒常性の理解と制御による糖尿病および併発疾患の克服

プロジェクトマネージャー (PM)

片桐 秀樹 (東北大学 大学院医学系研究科 教授)



代表機関: 東北大学

研究開発機関: 大阪大学、京都大学、慶應義塾大学、滋賀医科大学、千葉大学、電気通信大学、東京医科歯科大学、東京都医学総合研究所、東京大学、東北医科薬科大学、東北大学、名古屋大学、奈良女子大学、北海道大学、理化学研究所

研究開発プロジェクト概要

AI・数理モデル解析などを活用して、代謝・循環の調節に重要である自律神経を介した臓器間ネットワークの機序を包括的に解明し、その制御手法を開発し、未病期段階の状態をより精密に検出します。それにより、2050年には、糖尿病および併発疾患の発症を未然に防ぐ社会の実現を目指します。

2030年までのマイルストーン

糖尿病や併発疾患に対する予防的介入法を開発し、簡便な超早期診断法を確立する。

2025年までのマイルストーン

糖尿病や併発疾患の予防的介入法を提案し、早期段階の簡便な診断につながる手法を開発する。

片桐PMのマネジメント体制図

